

金融マンは対話で世界を変える



熱金
熱い金融マン協会

第57回 ZOOMオンライン

対話研究会

2025年11月19日（水）19:30～21:30

課題図書

あなたの声に、耳を澄ます。

著者 中村一浩

【参加申込】<https://taiwaken57.peatix.com/>



事務局：金融経営研究所
madoguchi@kinken.biz

参加費 無料

- ①本研究会はボランティアで運営しています。
- ②運営へのご協力をお願いします。

対話からはじめよう。

Dialogue with.

第一部

耳を澄ます。
あなたの声に、

Handkerchief Books

対話の実践書
対話しながら綴った
対話のプロが

中村 一浩

Kazuhiro Nakamura

勉強会の目的と運営

- ①目的：対話の理論とノウハウを吸収する。
(金融機関内部、金融機関と顧客、金融機関と当局との対話のあり方?)
- ②読書会（原則）：課題図書の要旨説明（持ち回り）と対話。
- ③日程：毎月第3水曜日の19：30～（ZOOMオンライン）
- ④参加条件：課題図書をチラッとはみてくる。運営に協力。
- ⑤運営方法：参加無料。全員ボランティア。FBで毎回記録を作る。
- ⑥要旨説明者：持ち回り。毎回最後に次回の要旨説明者等を決めます

事務連絡

- ①**録画**します（全体のみ。個別対話は録画しません）。
- ②**記録への協力**のお願い
 - ・研究会終了時に感想等をFB記録ページに。
- ③**本日の資料**は対話研究会のHPに掲載

お約束

1. 他の人の話は、この場以外では秘密にしよう
2. 心に浮かんだことを声に出そう
(かっこ悪くてOK。意見を合わせなくてOK)
3. 異なる意見を受け止めよう

本日の次第

1. 事務連絡
2. チェックイン
3. 要旨説明（山口省蔵）
4. 中村一浩さんコメント
5. 対話
6. 事務連絡・チェックアウト

チェックイン

以下のいずれかについて一言ずつ

①本の感想・疑問

②本日の期待

「あなたの声に、耳を澄ます」目次

まえがき	本書は第一部対話の方法論（スキル・ノウハウ）
第1章	対話とは何か
第2章	対話のステップをたどる
第3章	対話をはじめるにあたって
第4章	対話を実践するコツ
第5章	対話中に心がけたいこと
あとがき	続編第二部は、対話の成り立ち・メカニズム（対話による人や関係性の変化など）を扱う

第1章 対話とは何か

対話のテーブルにつくプロセス／「わかってもらっている感」が大事

「雑談」「議論」「対話」の関わり／なぜ対話が必要なのか？

本音で話すことが対話ではない？／愛（love）と力（power）のバランス

「言うことを聞かせたい自分」に気づく／「広義の対話」と「狭義の対話」

対話で何が変化する？／なぜ対話をすすめるのか？

まず、プラクティス（実践）ありき

コラム：コミュニケーションとマニピュレーション

「わかってもらえてる感」がある対話にするには
どうしたらいいと思いますか？

第2章 対話のステップをたどる

対話にスキルはどこまで必要か？／成人発達理論と対話

どんな人に対話が必要か？／**対話の対象は3つに分けられる**

「対話ができていない」ことに気づく／「他者との対話」の解像度を上げる

難易度の高い人との対話は？／カギを握る「自然との対話」

「自分・他者・自然」との関わり

コラム：「街の思考」と「森の思考」

自然との対話とは、自分との対話の環境変化版？

第3章 対話をはじめるにあたって

対話を実践するには／「相互作用」と「**対等性**」がカギ

対話の場にどう馴染んでいくか？／対話には様々なカタチがある

日常がいかにかけ離れているか／「**信頼**」を構築するノウハウ

まず「想定の違い」を理解する／「聞く」ことが信頼の第一歩

信頼の解像度を上げるために／「心構え」は「身構え」に現れる

それでもうまくいかないときは

コラム：オーセンティシティ～「本来の自分」を取り戻す

会社のような縦社会で対等性を築いていくには、
どうすればいいですか？

第4章 対話を実践するコツ

まず「**対話の枠組み**」をつくる／**前提**を揃えてから話そう

「対話の枠組み」の具体例／前提が揃えられない場合は？

前提を揃えると議論もスムーズになる／対話から「共創」を生み出すには

「聞き方」にもノウハウがある／聞きながら「**要素**」を取り出す

「**要素に分ける**」と対話は変わる／冷静に聞くにはどうしたらいいか

対話中に意識したい4つのポイント／まず声を出してみよう

コラム：対話を通して「お腹」の神経が開く？

あなたが対話のコツだと思っていることは何ですか？

第5章 対話中に心がけたいこと

すぐに実践できる2つの秘訣／「**相槌**」を使い分ける

相手の話を活かす「**枕詞**」とは？／現場でいかに使えるか？

思いがあふれてきた時はどうする？／「分析」よりも「観察」が大事

相手と感覚の「**ずれ**」を感じたら／「ずれ」を通して対話を深める

「ゆるめる」ことは「ゆだねる」こと／コントロールからいかに離れるか

自分の成長に応じた対話とは？／「立ち返るところ」を共有する

コラム：対話における「守・破・離」のプロセス

あなたが良く使う枕詞は何ですか？

耳を澄ませて聴ける声と聴けない声があるとしたら、その違いは何ですか？

第58回
ZOOMオンライン

対話研究会

オープン ダイアローグ 対話会

2025年12月17日（水）19:30～21:30

【参加申込】 <https://taiwaken58.peatix.com>



事務局：金融経営研究所

madoguchi@kinken.biz

参加費 無料

- ①本研究会はボランティアで運営しています。
- ②運営へのご協力をお願いします。

チェックアウト

本日の感想について、チャットに書いてください。

以上です
ありがとうございました。

本資料に関する照会は、以下までお願いします。

株式会社金融経営研究所
山口省蔵
〒1510051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-30-9Kビル
メアド： shozo@kinken.biz
電話： 0353856216

